



美しく自分を染め上げてください

今日から、2学期が始まります。夏休みの間、大きな事故や災害に遭うことなく始業式を迎えられたことを、皆さんとともに喜びたいと思います。

今回は、右の詩を紹介します。詩人であるサトウハチローさんの「美しく自分を染め上げてください」という詩です。人が生きるということを、白を自分色に染め上げていくことと表しています。

今皆さんは何色に染まっているでしょうか。また、何色に染まりたいですか。その色は輝いていますか。「ウソのない生活」を送り、「ありがとう」の感謝を忘れない。「ひとにはやさしく」して、「自分にはきびしく」鍛える。これを続けることで、白はすばらしい色になる、輝きのある色になると、彼は言っています。

さて、2学期は、さまざまな行事があります。1年生は五色台集団宿泊学習、2年生は職場体験学習、そして、全校で取り組む、合唱コンクール。その一つ一つが、意義のある行事です。ただし、意義あるものにするのは、皆さん自身です。計画をしっかり立て、目標に向かって自分に厳しく、粘り強く学習や運動に励み、自分を美しく輝いた色に染め上げていくことを期待しています。また、そのために大切なことは、強くたくましい心と身体を持ち続けることです。まだまだ暑い日が続きますが、仲間とともに、がんばりましょう。（2学期始業式 式辞より）

美しく自分を染め上げてください

赤ちゃんのときは白 誰でも白 どんな人でも白
からだや心が そだっていくのといっしょに
その白を 美しく染めていく 染め上げていく

毎朝 目がさめたら きょうも一日
ウソのない生活を おくりたいと祈る
夜 眠るときに ふりかえって
その通りだったらありがとうとつぶやく
ひとにはやさしく 自分にはきびしく
これをつづけると 白はすばらしい色になる
ひとをいたわり 自分をきたえる
これが重なると 輝きのある色になる

なにもかも忘れて ひとのために働く
汗はキモチよく蒸発し くたびれも よろこびとなる
こんな日のひぐれには 母の言葉が耳にすきとおり
父の顔が目の中で ゴムマリみたいに はずむ

生まれてきたからには よき方向へすすめ
からだや心を大きくするには よき道をえらべ
横道はごめんだ おことわりだ
いそがずに ちやくちやくと
自分で自分を
美しく より美しく 染め上げてください

<保護者の皆様へ>

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。式辞でも触れましたが、2学期には大きな行事が控えていますし、3年生は進路について具体的に考える時期になります。学校からお願いすることも多いと思いますが、よろしく願いいたします。逆に、ご家庭からご相談ごとなどがありましたら、いつでも学校へご連絡ください。

また、1学期末の学校評価には、多くの方がご意見や生徒への励ましメッセージをお寄せくださり、ありがとうございました。今後、学校通信の紙面に、ご報告させていただきます。それに先立って、次の2点をお知らせします。

- 明日から9月末をめどに、体操服登校を認めます。体操服で校内生活を過ごすことも可とします。ただし部活のTシャツなどは不可です。また、着替えが必要だと思う場合は、制服や替えの体操服をご準備ください。なお、合唱コンクールや式典などは、制服着用とします。具体的には、その都度お知らせします。
- 給食のホームページ掲載について、「とてもありがたい」というご意見が多くある一方で、「毎日しなくてもよいのでは」などのご意見もありました。おそらく、後者のご意見は、掲載のお知らせメールが煩わしく思われているのではないかと推察いたします。そこで、今後は、給食のホームページ掲載はこれまでどおりですが、お知らせメールが送信されない設定にしますので、ご了承ください。